



宝塚さざんか福祉会法人理念

法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。

職員は、職業人としての自覚を持ち、自らの資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。

法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動し、地域のコミュニティ発展に寄与します。

Contents

常務理事挨拶	2P
組織図	3P
事業計画・研修計画	4・5P
2022年度 新任職員紹介	6・7P
法人へのご寄付／編集後記	8P



「ありがとう」を素直に伝え合い 「笑顔」あふれる日々となるように

新型コロナウイルス禍で迎えた3年目の年度となりました。

新たに入られた「利用者・職員」のみなさま、落ち着かず、緊張と少し不安な表情から、安心した笑顔あふれる日々へと変化されていますか。

今年1月半ばより、感染力の強いオミクロン株を中心とした感染者が急増し、入所施設、グループホーム、生活介護事業所など広い範囲で利用者、職員が発症し、濃厚接触者の自宅待機も含めた職員不足により、安全な運営が確保できない事業所・ホームを一時休止するなど、ご心配・ご不便・ご迷惑をおかけすることとなりました。改めてお詫び申し上げますとともに、状況をご理解いただき、ご協力くださいましたすべての方々に深く感謝申し上げます。

また、宿泊を伴う生活を支える現場では、感染者への支援を職員が高い意識と使命感を持って支え続けました。職員ご家族等のご理解も含め、先の見えない予測の立たない現場を支え続けて下さったことに、心から「ありがとう」と誇りと感謝の気持ちでいっぱいでした。3月には一先ずの収束に向かうこととなりましたが、新たなコロナ株の発症も伝えられており、予断を許さない状況ではありますが、法人「事業継続計画（BCP）」及び「感染症等対策指針」マニュアルを基に、有事に備え、感染予防・防止対策に継続して取り組んで参ります。

事業運営では、4月から義務化された「障害者虐待防止の更なる推進のための運営基準」に基づき、既存の仕組みをより明確にするため、運営規程、対応マニュアル、身体的拘束等適正化指針等を昨年度中に見直し、実践に向けて再整備しました。「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援などに関する法律（障害者虐待防止法）」が制定され10年が経過しました。法人内の不適切な対応等への反省をもとに、虐待の芽を生まない、不適切な支援を認めない、許しあわない現場作りを改めて進めていますが、こうした仕組みの強化は、福祉現場での実践が「利用者の尊厳と主体性の尊重」がまだまだ擁護されていない状況にあるということだと思われます。法人としても「援助観」「人間観」「倫理観」を柱に置いた研修計画を、専門性の向上等を含め取り組んでいきます。すべての取り組みが相互につながり合い、日々の課題改善・解決を「自分事」として捉え、気づきを増やし合い、発信し合える職場環境づくりが大切だと考えています。こうした仕組みが注意や指摘のし合いではなく、相談や確認、気づきの数だけ会話が増え、理解が深まるよう、コロナ禍での一定の制限はありますが、「ありがとう」と「笑顔」が増える現場となるよう取り組みたいと思います。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

常務理事 今西 則行

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会組織図 (令和4年4月1日)



理事長 松井 美弥子

常務理事 今西 則行

総務部 部長
上江洲 薫

総務課 課長
山川 温子

宝塚さざんかの家
所長
山下 知一

主任・サービス管理責任者
加堂 祐介

宝塚あしたば園
所長
谷口 篤

主任・サービス管理責任者
九門 朋拓

宝塚めふプラザ
所長
山本 正一

主任・サービス管理責任者
堀 京子

宝塚けやきの里
所長
福田 加奈子

主任・サービス管理責任者
片山 翼

ワークプラザ宝塚
所長
松永 仁美

主任・サービス管理責任者
阪口 麻紀

かしの木工房 こはま
所長
脇田 幸治

主任・サービス管理責任者
原田 涼平

宝塚くるみの里
所長
溝田 康英

主任・サービス管理責任者
溝田 康英 (兼務)

運営・企画部
運営部長
八木 誠

いきいき宝夢
所長
伊藤 裕臣

主任・サービス管理責任者
大西 僚太

企画部長
辻井 善弘

くらしサポートオフィス
所長 (さざんかヘルパーステーション運営統括を兼ねる)
野口 能史 (さざんかグループホーム管理者)

さざんかグループホーム
主任・サービス管理責任者
大路 明生

主任・サービス管理責任者
深見 侑香

主任・サービス管理責任者
稲月 康泰

さざんかヘルパーステーション
主任 (管理者・サービス提供責任者)
池田 良春

障害者就業・生活支援センターあとも
所長
前川 麻由美

相談支援センターだんぼ
所長
豊川 美奈子



宝塚さざんか福祉事業計画・研修計画

組織運営・経営体制の強化について

1. 障害者虐待防止・身体拘束等の適正化の更なる推進について

昨年度、既存の仕組みをより明確にするため、運営規程、対応マニュアル、身体的拘束等適正化指針等を見直し整備しました。これらを基に、虐待の芽を生まない、不適切な支援を認めない・許さない「利用者の尊厳と主体性の尊重」が擁護される職場づくりを継続して取り組みます。

2. 感染症や災害への対応力強化について

「事業継続計画(BCP)」及び「感染症等対策等指針」のマニュアルについても、昨年度改めて整備し、これらに基づき、災害や緊急時、感染症予防対策等に取り組み、いざというときに速やかに対応できるよう備えるとともに、研修や訓練等を実施し、より実用的なマニュアルとなるよう取り組みます。

3. 委員会・プロジェクトの再編

重点課題や継続課題等をさらに絞り、第3期行動計画策定を念頭に「行動計画策定委員会」を設置し、今後の法人全体の事業の在り方について方向性を検討するとともに、地域生活支援(GH)と一体化した日中事業所の在り方・働き方について提案をまとめていきます。

4. 福祉サービス第三者評価の実施について

福祉サービス第三者評価については「さざんかグループホーム」「宝塚くるみの里」の2事業所が受審し、現場の現状を客観的に捉え直し、支援の質の向上等に努めます。

5. 法人内監査の実施について

行政監査による指摘事項への具体的改善対策として、顧問会計士による毎月の各拠点往査指導に加え、チェックリストを基にした内部監査を半期ごとに実施し、法令遵守に努め、日々の改善等に繋がる取り組みを継続します。

職員研修計画

基本方針

法人理念を基にした経営活動を実践するため、人材確保・育成・定着への取り組みが豊かな「人・組織・地域」づくりにつながるように、職員一人ひとりが「目標」を持ち、学びたいと思う気持ちに効果ある学習支援等ができるよう最大限配慮します。

研修計画については、個々に合わせて策定し、「育成」「評価」「処遇」が連動し、意欲・能力を十分に発揮できる職場づくりにつながるよう実施します。特に「人権・権利擁護」につながる「援助観」「人間観」「倫理観」に関する研修を積極的に取り入れ、不適切な対応や事故防止のための支援技術や職場倫理の向上に努めます。

進め方について

- ①職員一人ひとりの「目標」をサポートする研修計画を作成
- ②法人研修体系に基づく職場外研修への派遣
- ③職場内研修について
支援や業務上の課題等を各分野の専門職と連携しながら、研修会等を実施していきます。

各事業所における取り組みについて

- (1)「自立生活援助」事業への取り組みについて、令和3年9月に相談支援センターだんぼが「自立生活援助」(訓練等給付)の指定を受け事業を開始しました。この事業では、障害者支援施設や精神科病院等から、地域での一人暮らしに移行された方々に対して、一定期間にわたり定期的な巡回訪問やトラブル等が起きた際に応じた随時の対応、各関係機関等々の連絡調整を行います。住み慣れた地域や住みたい街で、ご本人の意思が尊重され主体的に望む暮らしが安定し、継続できる定着支援に取り組みます。
- (2)「ICT導入モデル事業」の補助金活用により、いきいき宝夢では、支援の質・量を高め、業務改善につなげるための環境づくり、仕組みづくりに取り組んでいます。また、さざんかグループホームへの同事業補助金が支給されることになり、地域に点在する支援拠点をつなげ、業務改善・省力化、情報共有や会議等への活用を進めてまいります。法人全体としても有事の際に可能な限り対応できる環境づくり等をさらに進めます。
- (3)地域貢献について、ア.宝塚市社会福祉法人連絡協議会等に参加し、分野を越えたつながりや連携を構築します。イ.市内に点在する各事業所の近隣地域住民との交流行事(お祭り等)や「職と防災」に関する研修会の実施、自治清掃活動の側面的支援など、新型コロナウイルスによるイベント等の開催制限等、感染状況に則した形で各地域住民の方々と共にできることを取り組みます。
- (4)新型コロナウイルス感染症防止・予防対策と心の健康について
新型コロナウイルス感染症対策が長期に渡っており、感染リスクを感じながら、仕事と生活を維持することは、自分が想像する以上に緊張感が続くことがあります。福祉職員としての使命感や誇りが負担となり、ストレスの反応は時間が経ってから症状に出てくることもあります。「ストレスチェック」の実施と共に、管理者や職員が相互にこころやからだの変化に気づき合い、自らも今の自分の状態に目を向けられるよう、気を配り合える職場環境づくりを目指します。
- (5)経営環境について、OA機器等の更新や環境等の再構築等、契約に向けて、災害対策・危機管理やコスト等を意識した見直しを順次行っていきます。
- (6)財務計画について、財務状況の健全化、改善傾向にある状況を継続し、施設や設備等の老朽化や整備、創設等のために、行動計画に示す積立金の計画的確保に向け目標を定め達成できるよう努力します。

人材の育成・確保・定着について

- ①法人研修計画については、法人研修方針を基に、人材確保・育成・定着プロジェクトが示す、具体的な年間研修スケジュールの実施計画に基づき、目的を持って構成されたグループを基本に、法人内研修を引き続き取り組んでいきます。また、職員個々に応じた各種研修への派遣については、コロナ禍、限られた環境や方法となるかとは思われますが、育成への意図や目的、目標を明確にした上で、個々に応じた学びへの意欲をサポートします。
- ②人事評価制度については、「宝塚さざんか福祉トータル人事システム」を企業と連携してデータベースソフト化し、今後継続して安定運用できるシステムの構築を今年度中に推進します。



2022年度 新任職員紹介

質問事項

- 1 名前
- 2 配属先事業所
- 3 趣味
- 4 自分を四字熟語で表すなら？
- 5 人生で一番うれしかったことは？
- 6 理想の支援者像は？（座右の銘）



- 1 鎌田 悠斗 (クワタ ユウト)
- 2 宝塚さざんかの家
- 3 横乗り (スケートボード、スノーボード、サーフィン) アクアリウム

- 4 獅子奮迅
- 5 スケートボードで難易度が高いトリックが3日で出来た事
- 6 山下所長のような支援員になりたいです。



- 1 松本 怜菜 (マツモト レナ)
- 2 宝塚あしたば園
- 3 音楽鑑賞、ショッピング
- 4 思慮分別
- 5 周りの環境に恵まれたこと。

- 6 いつも笑顔で、利用者の気持ちを一番に考えられる支援員になりたいです。



- 1 関灘 宏太 (セキナダ コウタ)
- 2 相談支援センターだんぼ
- 3 国内外旅行(異文化交流)、食べ歩き、温泉巡り
- 4 一所懸命

- 5 宝塚さざんか福祉会に入職できたことで『相談支援専門員として障がい者支援に携わりたい』という一つの夢のスタートに立つことができました。これから多くのケースに携わることが楽しく楽しみです。
- 6 さまざまな相談や利用者支援に対応できるようになりたいです。日本一の支援者になることを私は目指します。



- 1 三木 彩衣 (ミキ アヤエ)
- 2 宝塚くるみの里
- 3 吹奏楽(ユーフォニアム)、水彩画、音楽鑑賞、映画鑑賞
- 4 温厚篤実

- 5 絵画や音楽のコンクールやコンテストで賞をいただいたこと。自分の頑張りが誰かのためになるありがたさを知り、嬉しかったです。
- 6 大きな心持ちで人の心に寄り添い、何ごとにも気づき支援できるよう心がけていきます。(一期一会) 人と人が出会う機会、「ご縁」を大切にしています!



- 1 宮城 未来 (ミヤギ ミク)
- 2 ワークプラザ宝塚
- 3 音楽に合わせて体を動かすこと
- 4 脚下照顧

- 5 自動車免許を無事に取れたこと
- 6 学び続ける支援者を目指したいです。毎日先輩方や利用者さんから学ぶことばかりです。これからもずっと学び続け、笑顔で毎日を過ごしていきたいと思っています。



- 1 八代 裕也 (ヤシロ ユウヤ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 お菓子作り、読書
- 4 粉骨砕身
- 5 地元の100周年イベントに住

- んでる地域のだんじりが出たこと
- 6 うれしきも 憂きも心は 一つにて 分かれるものは 涙なりけり 一つ一つの選択に後悔のないよう自信を持った支援ができるように目指して頑張ります。



- 1 新宮 陽菜 (シングウ ヒナ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 音楽鑑賞、YouTube鑑賞
- 4 一生懸命

- 5 好きな推しのライブに行けたこと
- 6 日々少しずつ成長していき、利用者さん一人一人にあった支援が出来る支援者になりたいです。



- 1 池村 美里 (イケムラ ミサト)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 写真を撮ること、動画編集、ドライブ
- 4 泰然自若

- 5 学生時、憧れのバイト先 (USJ) で働けたこと
- 6 人生はいつだって思った以上にシンプル。一人一人の支援に難しさを感じる場面がありますが、利用者さんの想いに応えながら暮らしをサポートするという大きな軸を忘れず出来るだけ自分も利用者さんも分かりやすいシンプルな支援を目指していきたいです。



- 1 下里 政博 (シモザト マサヒロ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 野球観戦 カラオケ
- 4 笑門来福
- 5 居酒屋覆面調査で関西一位

- になり表彰された
- 6 マザーテレサ 笑顔は愛の始まり



- 1 住田 侑翼 (スミダ ユウスケ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 カフェ巡り、写真
- 4 安居楽業
- 5 日本人として、日本に産まれてくれたこと

- 6 ネバーギブアップ



宝塚さざんか福祉会への寄付 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) 敬称略

総額 12,241,980円

ありがとうございました。それぞれの事業所で有意義に使わせていただきました。

施設整備等寄付金10,000,000円 (社)宝塚市手をつなぐ育成会、宝塚さざんか福祉会後援会)

法人本部 (蓮池道子、匿名 (1件) 医療法人社団仁成会、宝塚さざんか福祉会後援会、宝塚更生保護女性会)・宝塚さざんかの家 (浅山みゆき、匿名 (2件)、宝塚さざんかの家保護者会)・宝塚あしたば園 (松井瑞夫)・宝塚めふプラザ (匿名 (2件))・宝塚けやきの里 (匿名 (1件))・ワークプラザ宝塚 (匿名 (1件)、ワークプラザ宝塚保護者会)・かしの木工房こはま (匿名 (1件)、かしの木工房こはま保護者会)・宝塚くるみの里 (匿名 (1件))・いきいき宝夢 (都山隆宏)・グループホーム (オカリナグループあじさい代表宮内、宮内美穂子、松井美弥子、寺坂加代子)

編集後記

☀️ 法人広報誌発行を担当する広報・啓発PTは今年度メンバーを新たに組みんでいます。当該PTでは法人広報誌だけでなく、法人ホームページの活用の在り方についても検討しています。昨年度、法人全職員へアンケート調査を行う等しながらより良いものとなるように取り組んでいます。

法人広報誌やホームページは、法人を利用されるご利用者様、その家族等、或いは法人職員だけでなく、広く皆様のもとへ届くように努めております。その中で皆様から率直なご感想を頂けると幸いです。

片山 翼

☀️ 法人広報誌、法人ホームページを通じて、法人組織・各種事業計画等をご利用者様、ご家族様、関係各位へ知って頂けるように掲載していきます。ご意見、ご感想等ありましたら遠慮なくお聞かせ下さい。

稲月 康泰

☀️ 今年も広報の担当をさせて頂いております。年度最初の広報誌には新任職員の記事が定番になってきましたね。これからもこのページが埋まっていくようにたくさんの方が興味を持ってくれるような記事を作っていきたいと思います。

大西 僚太

☀️ 法人広報誌は1年に2回の発行ですが、たくさんの方に最後まで目を通して頂ける内容になるように工夫しています。法人広報誌や法人ホームページについてお読みになった感想や意見をお聞かせ頂けると嬉しいです。皆様のご意見をもとに、より良いものにしていきます!

阪口 麻紀